

# 第46回東予DM研究会

謹啓

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、下記の通り、「第46回東予DM研究会」を開催させて頂くこととなりました。

ご多忙中とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

日時：令和5年6月7日（水） 19:00～20:45

場所：新居浜市医師会館 3階 愛媛県新居浜市庄内町4-7-54 TEL 0897-33-4096

〈講演①〉19:00～19:20

『本日症例から学ぶ前に確認しておきたいAGPレポートの基本事項』

たなか内科クリニック 院長 田中 清宜 先生

2019年4月から保険適応となったフリースタイルリブレという間欠スキャン式持続血糖測定器(isCGM)は、2022年4月からはインスリン注射を行っているすべての患者に適応拡大された。上腕背側に500円玉大のセンサーをワンタッチで装着、1分ごとに測定・記録された血糖データを適宜リーダーまたはスマートフォンで読み取り、その時の血糖値と過去8時間のトレンドが視認出来る。さらに、14日間のデータが平均血糖値、血糖の変動(%CV)、適正血糖値を維持出来ている時間割合および新しい血糖変動の解析法である ambulatory glucose profile (AGP) 等を加えたAGPレポートとして血糖コントロール状態を評価できる。上記指標が将来的にはHbA1cに代わる指標となる可能性もある。この機器がより身近なものとして使える環境となってきた今、より良好な血糖コントロール以外に患者とのコミュニケーションツールとしての役割等も含めて、各施設にはより広い視点で自験例を報告していただく。全く初めての方にも、わかり易く興味を持っていただけると考える。

〈講演②〉19:20～20:30

『AGPレポート(Ambulatory Glucose Profile)を活用した好事例について』

愛媛県立新居浜病院	薬剤師	秋山 美佳先生	“妊娠糖尿病の事例”
済生会西条病院	看護師	越智 志保先生	“認知症のある1型糖尿病患者への多施設での関わり”
たなか内科クリニック	看護師	藤堂 弓恵先生	“晩現象が顕著な1型糖尿病のAGPを活用した改善例”
愛媛労災病院	看護師	渡部 夏子先生	“看護師と患者さんがAGPレポートをもとに呟き合った結果、治療変更に影響を及ぼした1症例”

〈まとめとお知らせ〉20:30～20:45

※ 尚、参加費として、一人500円を徴収させていただきます。

※ 当会におきまして、日本糖尿病療養指導士認定研修[第2群]0.5単位、愛媛糖尿病療養指導士認定研修1単位、日病薬病院薬学認定薬剤師制度1単位を申請中です。

※ 日本糖尿病療養指導士に関する単位申請には、当日お渡しする参加証をご利用ください。

※ 本研究会におきましては参加者の旅費の負担ができませんのでご了承ください。

共催：東予DM研究会、愛媛県病院薬剤師会東予支部、住友ファーマ株式会社

【問い合わせ先】 住友ファーマ株式会社 北野秀治

TEL:080-5319-8922 FAX:089-947-2889 e-mail:hideharu.kitano@sumitomo-pharma.co.jp

〒790-0003 愛媛県松山市三番町6-3-4 松山パルビル 7F